



吉田町は、大井川を超えた東に志太平野、南に駿河湾、北西には牧之原大地に囲まれた平地で、人口約3万人の町です。本校は、この吉田町の中でも大井川に接し、田んぼと住宅に囲まれた中にあります。児童数約600名で、吉田町内の3つの小学校の中で一番児童数が多い学校です。

子どもたちがいたり、こんな「かわい子」もたち「でいっばい」の中央小です。ただ、新型コロナウイルス感染症の流行、先の見えにくい不安な世の中、様々な家庭環境、生育歴、本人の特性など、「生きづらさ」を抱えた子どもたちが多く、登校渋り、自傷行為、徘徊など、様々なSOSを発する子供も多くいます。

点目標に、「見つけ、つなぎ、高めあおう」を置き、特に、「見つけ」においては、子どもたちが自身が意識してお互いの「よいところ」を、価値づけし合う活動を行っています。

行方、徘徊など、様々なSOSを発する子供も多くいます。こうした子どもの良さを更に伸ばそうと、自尊感情の醸成を通して、学校教育目標「たくましい子ども」を育成することに力を入れています。そして、重

あなたにはかけがえのない存在であるメッセージを発信しています。今年の学校保健委員会では、自分が講師として、「自己理解、他者理解を深めるための構成的グループエンカウンター」を実施しました。今年もこの企画を

振り返ると、まだまだ足りないかったと反省する日々です。現状、子どもたちは過酷な環境に置かれていて、新型コロナウイルス感染症が流行する中、熱中症警戒アラートが、毎日発令されるような夏

であり、熱中症なのか、感染症なのか分からない高熱を発する児童で保健室が埋まりました。命、安全、安心が守られること、そして、この、めまぐるしく変化し、先の見えにくい世の中を、子ども自身を守る「生き抜く力」を身につけるために、養護教諭として、できることを粛々と行っています。

当社は1924年（大正13年）、現在の静岡市駿河区泉町で製茶用火炉製造事業から始まり、第二次世界大戦を経て、1951年に製紙機械製造業へと事業転換、1961年に社名を現在の相川鉄工（株）へと変更いたしました。大戦後の大きな時代の流れを受けて急速な発展を遂げていた製紙業界に貢献すべく国内外の多くの企業と技術提携をし、製紙関連機器の専門メーカーとして今日まで歩みを進めて参りました。製紙関連機械、消耗部品である刃物等は、自社鋳造工場での素材形成から様々な工程を経て仕上げられた製品であり、専門スタッフの細心の検査の後、試運転が行われ、規定をクリアしたものがお客様の手に納品されます。素材・製品、その先まで。当社は全ての製造工程の社内一貫生産体制を確立しています。

豊かさも守ろう」にも意欲的に取り組んでいます。省エネやリサイクルを促進する機器を開発したことで、様々な分野のお客様からお問い合わせをいただく一方、CNFの普及促進にも注力しています。セルロースナノファイバー（CNF）とは植物由来の次世代素材です。木材から化学的・機械的処理により取り出したナノサイズの繊維状物質であるCNFは、鋼鉄の5倍の強度ながら軽さはその5分の1、耐久性にも優れ、環境への負荷が少ないことから、既に自動車や家電、住宅・建材、衣料品や食品などにも活用されています。

従業員は、安全衛生対策のため、3S活動（整理・整頓・清掃の頭文字から取った3つのS）の推進や安全管理者・衛生管理者による工場巡視、安全衛生面での人材教育、資格取得推奨等にも積極的な取り組みを行っています。従業員の意見を反映させて、労使が一体となり従業員の危険や健康被害を防止し、労働災害を防ぐことを目的として月1回の安全衛生委員会を開催しています。また、年に1度行うストレスチェックでは個人に結果を通知するのみでなく、部署ごと、世代ごとの結果をまとめ、面談にも対応しています。計画し維持管理をして点検、修繕して整えることで、生産を停めない健康的な工場運営を目指しています。

相川鉄工（株）は、2024年、おかげさまで創業100周年を迎えます。大正、昭和、平成、そして令和へ。『Ever Forward』『不断の前進』の精神のもと、常に未来を、世界を視野にたゆまぬ努力を重ねてきました。当社は、時代やニーズに沿った高性能・高信頼の製品を生み出すことで、これからも製紙業界を中心とした世の中に貢献していきたいと考えています。

吉田町立中央小学校

養護教諭 小池みのり



子どもたちがいたり、こんな「かわい子」もたち「でいっばい」の中央小です。ただ、新型コロナウイルス感染症の流行、先の見えにくい不安な世の中、様々な家庭環境、生育歴、本人の特性など、「生きづらさ」を抱えた子どもたちが多く、登校渋り、自傷行為、徘徊など、様々なSOSを発する子供も多くいます。

こうした子どもの良さを更に伸ばそうと、自尊感情の醸成を通して、学校教育目標「たくましい子ども」を育成することに力を入れています。そして、重

あなたにはかけがえのない存在であるメッセージを発信しています。今年の学校保健委員会では、自分が講師として、「自己理解、他者理解を深めるための構成的グループエンカウンター」を実施しました。今年もこの企画を

振り返ると、まだまだ足りないかったと反省する日々です。現状、子どもたちは過酷な環境に置かれていて、新型コロナウイルス感染症が流行する中、熱中症警戒アラートが、毎日発令されるような夏

であり、熱中症なのか、感染症なのか分からない高熱を発する児童で保健室が埋まりました。命、安全、安心が守られること、そして、この、めまぐるしく変化し、先の見えにくい世の中を、子ども自身を守る「生き抜く力」を身につけるために、養護教諭として、できることを粛々と行っています。

当社は1924年（大正13年）、現在の静岡市駿河区泉町で製茶用火炉製造事業から始まり、第二次世界大戦を経て、1951年に製紙機械製造業へと事業転換、1961年に社名を現在の相川鉄工（株）へと変更いたしました。大戦後の大きな時代の流れを受けて急速な発展を遂げていた製紙業界に貢献すべく国内外の多くの企業と技術提携をし、製紙関連機器の専門メーカーとして今日まで歩みを進めて参りました。製紙関連機械、消耗部品である刃物等は、自社鋳造工場での素材形成から様々な工程を経て仕上げられた製品であり、専門スタッフの細心の検査の後、試運転が行われ、規定をクリアしたものがお客様の手に納品されます。素材・製品、その先まで。当社は全ての製造工程の社内一貫生産体制を確立しています。

豊かさも守ろう」にも意欲的に取り組んでいます。省エネやリサイクルを促進する機器を開発したことで、様々な分野のお客様からお問い合わせをいただく一方、CNFの普及促進にも注力しています。セルロースナノファイバー（CNF）とは植物由来の次世代素材です。木材から化学的・機械的処理により取り出したナノサイズの繊維状物質であるCNFは、鋼鉄の5倍の強度ながら軽さはその5分の1、耐久性にも優れ、環境への負荷が少ないことから、既に自動車や家電、住宅・建材、衣料品や食品などにも活用されています。

従業員は、安全衛生対策のため、3S活動（整理・整頓・清掃の頭文字から取った3つのS）の推進や安全管理者・衛生管理者による工場巡視、安全衛生面での人材教育、資格取得推奨等にも積極的な取り組みを行っています。従業員の意見を反映させて、労使が一体となり従業員の危険や健康被害を防止し、労働災害を防ぐことを目的として月1回の安全衛生委員会を開催しています。また、年に1度行うストレスチェックでは個人に結果を通知するのみでなく、部署ごと、世代ごとの結果をまとめ、面談にも対応しています。計画し維持管理をして点検、修繕して整えることで、生産を停めない健康的な工場運営を目指しています。

相川鉄工（株）は、2024年、おかげさまで創業100周年を迎えます。大正、昭和、平成、そして令和へ。『Ever Forward』『不断の前進』の精神のもと、常に未来を、世界を視野にたゆまぬ努力を重ねてきました。当社は、時代やニーズに沿った高性能・高信頼の製品を生み出すことで、これからも製紙業界を中心とした世の中に貢献していきたいと考えています。

本校は、日本平の麓に位置し、北東に秀麗富士山を仰ぐ、全校生徒624名の中学校です。近隣には、大学や日本平動物園などがあり、走って5分の所にある草薙総合運動場では、生徒が日々汗を流している部活動もあります。文化・体育等の教育施設に恵まれ、名実ともに文教地区として、ますますの発展が期待されている地区です。

本校の学校教育目標は、「自ら学び、心豊かに、体現する子」、重点目標を、「東豊力を育み、本気で学びを、実社会につなげる生徒」としています。生徒も職員も笑顔、あいさつがあふれる「明日も来

多くの健康に関心を持ち、心と体の健康管理ができる子」として、12年間を見通した保健教育の取り組みを行っています。グループ校の課題として、歯みがきの習慣が身につけていないことが挙げられ、歯科保健教育を重点的に行っています。本校生徒の保健専門委員が小

学生向けに歯科保健活動画を作成したり、小学生の保健委員が、幼小・中・高の歯みがきカレンダーを作成したりすること、グループ校で同時期に取り組むことで、学校での歯みがきだけでなく、歯の健康に対する家庭の意識を高めるきっかけ

識を高めています。また、年1回実施する「学校保健委員会」は保健専門委員が主体となり、全校参加型で行っています。本校の生徒は、素直な生徒が多い一方で、自分の思いや感じていることをきちんと言葉で表すことができない生徒も少

いて学べるように計画中です。保健室では常に、子ども一人ひとりの思いをしっかりと聴くことを心がけ、声なき心の声にも寄り添っていきたいと思っています。時に忙しさのあまり、十分に話を聴いてあげられないこともありま

当社は1924年（大正13年）、現在の静岡市駿河区泉町で製茶用火炉製造事業から始まり、第二次世界大戦を経て、1951年に製紙機械製造業へと事業転換、1961年に社名を現在の相川鉄工（株）へと変更いたしました。大戦後の大きな時代の流れを受けて急速な発展を遂げていた製紙業界に貢献すべく国内外の多くの企業と技術提携をし、製紙関連機器の専門メーカーとして今日まで歩みを進めて参りました。製紙関連機械、消耗部品である刃物等は、自社鋳造工場での素材形成から様々な工程を経て仕上げられた製品であり、専門スタッフの細心の検査の後、試運転が行われ、規定をクリアしたものがお客様の手に納品されます。素材・製品、その先まで。当社は全ての製造工程の社内一貫生産体制を確立しています。

豊かさも守ろう」にも意欲的に取り組んでいます。省エネやリサイクルを促進する機器を開発したことで、様々な分野のお客様からお問い合わせをいただく一方、CNFの普及促進にも注力しています。セルロースナノファイバー（CNF）とは植物由来の次世代素材です。木材から化学的・機械的処理により取り出したナノサイズの繊維状物質であるCNFは、鋼鉄の5倍の強度ながら軽さはその5分の1、耐久性にも優れ、環境への負荷が少ないことから、既に自動車や家電、住宅・建材、衣料品や食品などにも活用されています。

従業員は、安全衛生対策のため、3S活動（整理・整頓・清掃の頭文字から取った3つのS）の推進や安全管理者・衛生管理者による工場巡視、安全衛生面での人材教育、資格取得推奨等にも積極的な取り組みを行っています。従業員の意見を反映させて、労使が一体となり従業員の危険や健康被害を防止し、労働災害を防ぐことを目的として月1回の安全衛生委員会を開催しています。また、年に1度行うストレスチェックでは個人に結果を通知するのみでなく、部署ごと、世代ごとの結果をまとめ、面談にも対応しています。計画し維持管理をして点検、修繕して整えることで、生産を停めない健康的な工場運営を目指しています。

相川鉄工（株）は、2024年、おかげさまで創業100周年を迎えます。大正、昭和、平成、そして令和へ。『Ever Forward』『不断の前進』の精神のもと、常に未来を、世界を視野にたゆまぬ努力を重ねてきました。当社は、時代やニーズに沿った高性能・高信頼の製品を生み出すことで、これからも製紙業界を中心とした世の中に貢献していきたいと考えています。

静岡市立東豊田中学校

養護教諭 杉村 多恵



多くの健康に関心を持ち、心と体の健康管理ができる子」として、12年間を見通した保健教育の取り組みを行っています。グループ校の課題として、歯みがきの習慣が身につけていないことが挙げられ、歯科保健教育を重点的に行っています。本校生徒の保健専門委員が小

学生向けに歯科保健活動画を作成したり、小学生の保健委員が、幼小・中・高の歯みがきカレンダーを作成したりすること、グループ校で同時期に取り組むことで、学校での歯みがきだけでなく、歯の健康に対する家庭の意識を高めるきっかけ

識を高めています。また、年1回実施する「学校保健委員会」は保健専門委員が主体となり、全校参加型で行っています。本校の生徒は、素直な生徒が多い一方で、自分の思いや感じていることをきちんと言葉で表すことができない生徒も少

当社は1924年（大正13年）、現在の静岡市駿河区泉町で製茶用火炉製造事業から始まり、第二次世界大戦を経て、1951年に製紙機械製造業へと事業転換、1961年に社名を現在の相川鉄工（株）へと変更いたしました。大戦後の大きな時代の流れを受けて急速な発展を遂げていた製紙業界に貢献すべく国内外の多くの企業と技術提携をし、製紙関連機器の専門メーカーとして今日まで歩みを進めて参りました。製紙関連機械、消耗部品である刃物等は、自社鋳造工場での素材形成から様々な工程を経て仕上げられた製品であり、専門スタッフの細心の検査の後、試運転が行われ、規定をクリアしたものがお客様の手に納品されます。素材・製品、その先まで。当社は全ての製造工程の社内一貫生産体制を確立しています。

豊かさも守ろう」にも意欲的に取り組んでいます。省エネやリサイクルを促進する機器を開発したことで、様々な分野のお客様からお問い合わせをいただく一方、CNFの普及促進にも注力しています。セルロースナノファイバー（CNF）とは植物由来の次世代素材です。木材から化学的・機械的処理により取り出したナノサイズの繊維状物質であるCNFは、鋼鉄の5倍の強度ながら軽さはその5分の1、耐久性にも優れ、環境への負荷が少ないことから、既に自動車や家電、住宅・建材、衣料品や食品などにも活用されています。

従業員は、安全衛生対策のため、3S活動（整理・整頓・清掃の頭文字から取った3つのS）の推進や安全管理者・衛生管理者による工場巡視、安全衛生面での人材教育、資格取得推奨等にも積極的な取り組みを行っています。従業員の意見を反映させて、労使が一体となり従業員の危険や健康被害を防止し、労働災害を防ぐことを目的として月1回の安全衛生委員会を開催しています。また、年に1度行うストレスチェックでは個人に結果を通知するのみでなく、部署ごと、世代ごとの結果をまとめ、面談にも対応しています。計画し維持管理をして点検、修繕して整えることで、生産を停めない健康的な工場運営を目指しています。

相川鉄工（株）は、2024年、おかげさまで創業100周年を迎えます。大正、昭和、平成、そして令和へ。『Ever Forward』『不断の前進』の精神のもと、常に未来を、世界を視野にたゆまぬ努力を重ねてきました。当社は、時代やニーズに沿った高性能・高信頼の製品を生み出すことで、これからも製紙業界を中心とした世の中に貢献していきたいと考えています。

相川鉄工（株）は、2024年、おかげさまで創業100周年を迎えます。大正、昭和、平成、そして令和へ。『Ever Forward』『不断の前進』の精神のもと、常に未来を、世界を視野にたゆまぬ努力を重ねてきました。当社は、時代やニーズに沿った高性能・高信頼の製品を生み出すことで、これからも製紙業界を中心とした世の中に貢献していきたいと考えています。



岡部工場外観



従業員は、安全衛生対策のため、3S活動（整理・整頓・清掃の頭文字から取った3つのS）の推進や安全管理者・衛生管理者による工場巡視、安全衛生面での人材教育、資格取得推奨等にも積極的な取り組みを行っています。従業員の意見を反映させて、労使が一体となり従業員の危険や健康被害を防止し、労働災害を防ぐことを目的として月1回の安全衛生委員会を開催しています。また、年に1度行うストレスチェックでは個人に結果を通知するのみでなく、部署ごと、世代ごとの結果をまとめ、面談にも対応しています。計画し維持管理をして点検、修繕して整えることで、生産を停めない健康的な工場運営を目指しています。

相川鉄工（株）は、2024年、おかげさまで創業100周年を迎えます。大正、昭和、平成、そして令和へ。『Ever Forward』『不断の前進』の精神のもと、常に未来を、世界を視野にたゆまぬ努力を重ねてきました。当社は、時代やニーズに沿った高性能・高信頼の製品を生み出すことで、これからも製紙業界を中心とした世の中に貢献していきたいと考えています。

相川鉄工（株）は、2024年、おかげさまで創業100周年を迎えます。大正、昭和、平成、そして令和へ。『Ever Forward』『不断の前進』の精神のもと、常に未来を、世界を視野にたゆまぬ努力を重ねてきました。当社は、時代やニーズに沿った高性能・高信頼の製品を生み出すことで、これからも製紙業界を中心とした世の中に貢献していきたいと考えています。

相川鉄工（株）は、2024年、おかげさまで創業100周年を迎えます。大正、昭和、平成、そして令和へ。『Ever Forward』『不断の前進』の精神のもと、常に未来を、世界を視野にたゆまぬ努力を重ねてきました。当社は、時代やニーズに沿った高性能・高信頼の製品を生み出すことで、これからも製紙業界を中心とした世の中に貢献していきたいと考えています。



安全衛生委員会

げんきな事業所

相川鉄工株式会社

（静岡市葵区伝馬町24―2 相川伝馬町ビル）

